

しいらがた  
枚方市都市計画  
マスタープラン



## ごあいさつ

枚方市は、淀川の水運に恵まれ、生駒山系につながる里山や京街道の枚方宿など、魅力的な自然や歴史文化的資源を継承しながら、京都と大阪の中間に位置する住宅都市として発展してきました。本市では、平成12年に枚方市都市計画マスタープランを策定し、「人と自然がいきづく心ときめく都市」をコンセプトに市民・事業者・行政が連携し、まちづくりを進めてきたところです。

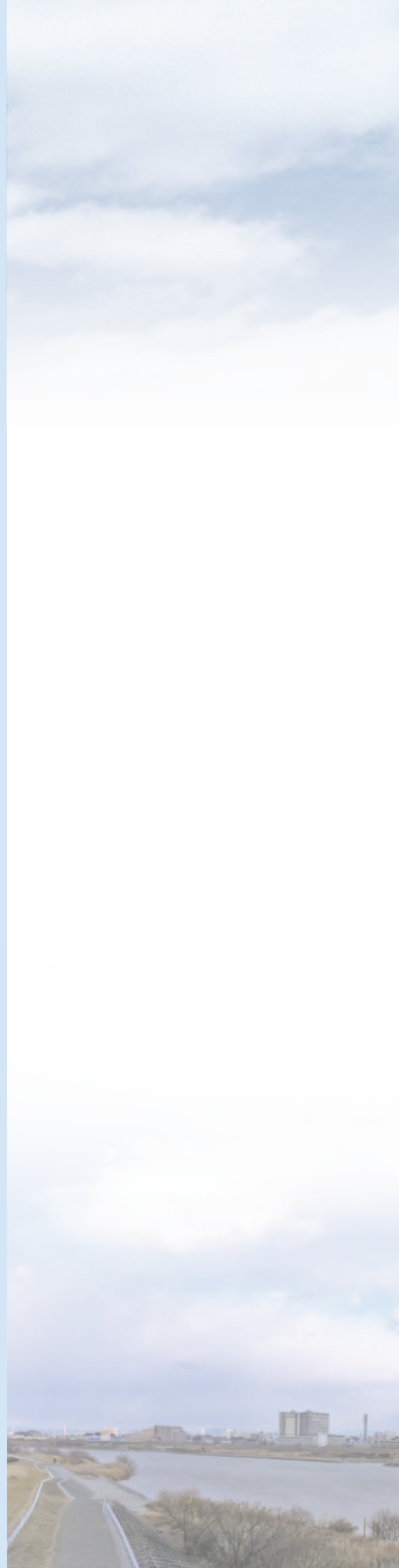
策定から10年が経過し、第二京阪道路の開通などによる道路交通網の整備、東部清掃工場や火葬場の稼働など、本市の都市基盤整備は一定の成果が現れてきています。一方で、少子高齢化の進行や本市においても目前に迫る人口減少など、都市化から成熟社会へと時代が転換するなか、新たな都市づくりの方向に舵を切っていく必要があります。

このような考えのもと、多くの方が心から「住みたい、住み続けたい」と思える魅力的な都市づくりに向けて、枚方市都市計画マスタープランの見直しを行いました。今回の改定では、都市活力の創造や環境負荷の低減、個性豊かなまちづくりなどを新たな方向として盛り込んでいます。本計画をもとに、次世代に継承できる、活力と魅力にあふれた「誇れるまち」の実現をめざして取り組んでまいりますので、市民の皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、今回の改定に際しまして、アンケートや意見交換会など市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

平成23年3月

枚方市長 竹内 脩





## 目 次

### ■はじめに

- 1.都市計画マスタープランの目的と役割・・・・・・・・・・ 1
- 2.都市計画マスタープランの位置づけ・・・・・・・・・・ 1
- 3.都市計画マスタープラン改定の背景および考え方・・・ 1

### ■全体構想

- 1.都市づくりの理念とコンセプト・・・・・・・・・・ 2
- 2.都市づくりの基本方針・・・・・・・・・・ 3
- 3.都市づくりの実現に向けた課題と方向・・・・・・・・・・ 5

### ■地域別構想

- 地域別構想の考え方・・・・・・・・・・ 11
- 1.北部地域・・・・・・・・・・ 13
- 2.中部地域・・・・・・・・・・ 15
- 3.南西部地域・・・・・・・・・・ 17
- 4.南部地域・・・・・・・・・・ 19
- 5.中南部地域・・・・・・・・・・ 21
- 6.中東部地域・・・・・・・・・・ 23
- 7.東部地域・・・・・・・・・・ 25

### ■都市づくりの実現に向けて

- 1.実現に向けての基本的な考え方・・・・・・・・・・ 27
- 2.「めざすべき都市像」の実現に向けた  
まちづくりの取り組み・・・・・・・・・・ 27

# はじめに

## 1. 都市計画マスタープランの目的と役割

### ■ 目的

都市計画マスタープランは、「都市計画」を効率的・効果的に進めるため、めざすべき都市像や地域別の将来像、それらを実現していくための取り組み方針を総合的かつ一体的に定めることを目的としています。

### ■ 役割

都市計画マスタープランの役割として、以下の3点が挙げられます。

- ①長期的な視点からまちの将来像を示します。
- ②市民・事業者・行政がまちづくりの考え方を共有し、それぞれの役割を果たしながら、対等の立場でともに取り組むための指針とします。
- ③本計画に沿って、土地利用の誘導や道路、公園、河川、下水道など具体的な都市計画の施策・事業を進めていきます。

## 2. 都市計画マスタープランの位置づけ

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づき、市のまちづくりの基本的な方針を示すものです。枚方市においては、大阪府が策定する上位計画の「東部大阪都市計画区域マスタープラン」および「枚方市総合計画」に即して策定します。この際、関連計画との整合を図るとともに、市民の意見を反映させながら策定し、都市計画の広域的な一体性を確保します。

また、個別の都市計画についての指針となり、市民・事業者・行政がともに都市づくりの実現に向けて取り組むことができる計画として策定します。

## 3. 都市計画マスタープラン改定の背景と考え方

### ■ 背景

枚方市の都市計画マスタープランが平成12年に策定されてから、少子高齢化の進行や環境問題、安全・安心な社会への関心の高まりや地方分権化の進展など、様々な社会情勢の変化がみられました。また、人々のライフスタイルについても質的な「心の豊かさ」を重視する傾向がみられ、質の高いまちが求められています。

一方、都市計画においては、都市施設整備状況や土地利用状況の変化に対応した都市骨格や土地利用に関わる都市計画の見直しが求められています。また、第4次枚方市総合計画第2期基本計画や平成22年度に改定される東部大阪都市計画区域マスタープランなど上位計画に即したものとする必要があります。

以上の社会情勢や都市計画の変化などへ対応できる都市づくりが求められていることを背景に、都市計画マスタープランの改定を行います。

### ■ 考え方

上位計画である枚方市総合計画の基本構想が平成12年から変更されていないことなどから、今回の改定にあたっては、「都市づくりの理念とコンセプト」および「都市づくりの基本方針」は原則踏襲し、「地域別構想」を中心に見直しを行っています。

# 全体構想

## 1. 都市づくりの理念とコンセプト

### ■ 都市づくりの理念

「人が集まり、住み続ける」ところが「都市」です。「人が集まり、住み続ける」ことにより、新たな産業や文化が生まれ、都市は活力を維持することができます。したがって「人が集まり、住み続ける」ために住環境を大切に作る都市をつくっていきます。

価値観や社会環境の変化に対応しながら、息の永い発展を続ける都市を次世代に継承していく必要があります。次世代に継承できる持続可能な都市基盤をつくります。

### ■ コンセプトとめざすべき都市像

#### 循環する都市

人が文化を育て、文化が都市を育て、都市が人を育てる循環のある都市  
 人が生まれ、育ち、学び、働き、楽しみ、老い、次世代につないでいく循環のある都市  
 生産・消費・排出・再資源化の循環のシステムをもつ都市  
 水が循環し、自然の生態系が息づく都市  
 をめざします。

#### 住み続ける都市

人が集まり住み続けることにより新しいくらしが生まれ、都市は活力を維持することができます。市民が文化の担い手となり、自らまちづくりに参加し、多様な人々が健康でいきいきと生活でき、ゆとりとやすらぎのある、安全・安心で快適ないつまでも住み続けたいと思える心ときめく都市を目指します。

人と自然が  
いきづく  
心ときめく都市

#### 成熟する都市

41万人都市として「成長」から「成熟」の時期に入り、市民のニーズも多様化してきています。周辺都市との連携、交流を図るとともに、多種多様な都市機能を備えた成熟する都市をめざします。

#### 交流する都市

人が交流するところには自然・歴史・文化があり、にぎわいと活力が生まれ、経済が動きます。魅力ある都市文化を育むため、人と人が交流する「ひらかれたひらかた」をめざします。

## 2. 都市づくりの基本方針

### 成熟する都市を支える 都市機能の充実

身近な生活環境のさらなる充実を図るとともに、広域に対応する都市核を形成するために、「住」「職」「学」の都市機能を充実させ、「遊・交流」の都市機能を付加し、地域の特性を活かした魅力と活気にあふれるまちをつくりまします。



### 地域資源を活かした ふれあいの都市づくり



枚方市は淀川や東部地域の里山などの水や緑の自然に恵まれ、京街道などの歴史・文化が残る都市です。これら二度と創りだすことができない都市の貴重な地域資源を保全・活用し、市民が自然とふれあい愛着をもつことができるまちづくりや、歴史や文化的資源を活かした風格のあるまちづくりを行い、幅広い交流をつくりだします。

## 市民とともに持続可能で 安全な都市づくり



持続的に発展し次世代に引き継いでいく都市をつくり、人が安心して住みつづけるための循環のしくみを支えるために、環境に配慮しながらまちづくりの基盤となる都市施設の整備を進めます。そして、市民とともに災害に強く高齢者や障害者などすべての人にやさしい安全な都市をつくりま

## 市民自らがつくる個性豊かな 魅力ある都市づくり

多様な人々が住みつづけるために、また人が集まり交流するために、市民自らのまちづくりに対するルールづくりを促進し、個性豊かで成熟した市民文化をもつ快適で安らぎのある魅力的な都市をつくりま



### 3. 都市づくりの実現に向けた課題と方向

#### 都市骨格を活かしたまちづくり

##### 都市骨格を強化し それらを活かした都市づくりが必要です

第二京阪道路が全線開通し、それに合わせて道路の整備が進むとともに、公共下水道の整備の進捗や東部清掃工場、火葬場が稼動するなど、一定の都市基盤整備が整いつつあります。

今後は、枚方市の骨格となる都市基盤をさらに強化していくとともに、それらを活かし、都市の活力の増進につながるよう、都市づくりを進めていく必要があります。

##### ■ 都市構造の考え方





- 枚方市の自然や地形は、西に淀川、東に山地、北と南に丘陵があり、東西に船橋川、穂谷川、天野川が流れているという特徴をもっています。これらの特徴をふまえた都市づくりを行います。
- 京阪本線、交野線およびJR学研都市線の3本の鉄道と12の駅は都市を構成する大切な骨格です。これら公共交通を活かした都市づくりを行います。
- 広域における枚方市の都市としての役割を明確にするため、枚方市駅周辺に「広域拠点」を、枚方公園駅周辺に「広域観光拠点」を一体的に形成します。
- 画一的变化のない都市ではなく、拠点が効率よく配置された魅力ある都市をつくるため、「地域拠点」を樟葉駅周辺、藤阪駅周辺に形成し、長尾駅周辺をはじめとする「地区拠点」とともに市民の生活を支えます。
- 新名神高速道路や第二京阪道路など枚方市を貫通する大きな幹線道路、また(都)牧野長尾線をはじめ4つの拠点(広域拠点、広域観光拠点、北部・東部地域拠点)を結ぶ幹線道路を枚方市の構造を形づくる軸として、都市づくりを考えます。
- 効率よく計画的に都市基盤整備を図るため、企画・計画段階から維持管理やライフサイクルコストを考慮します。

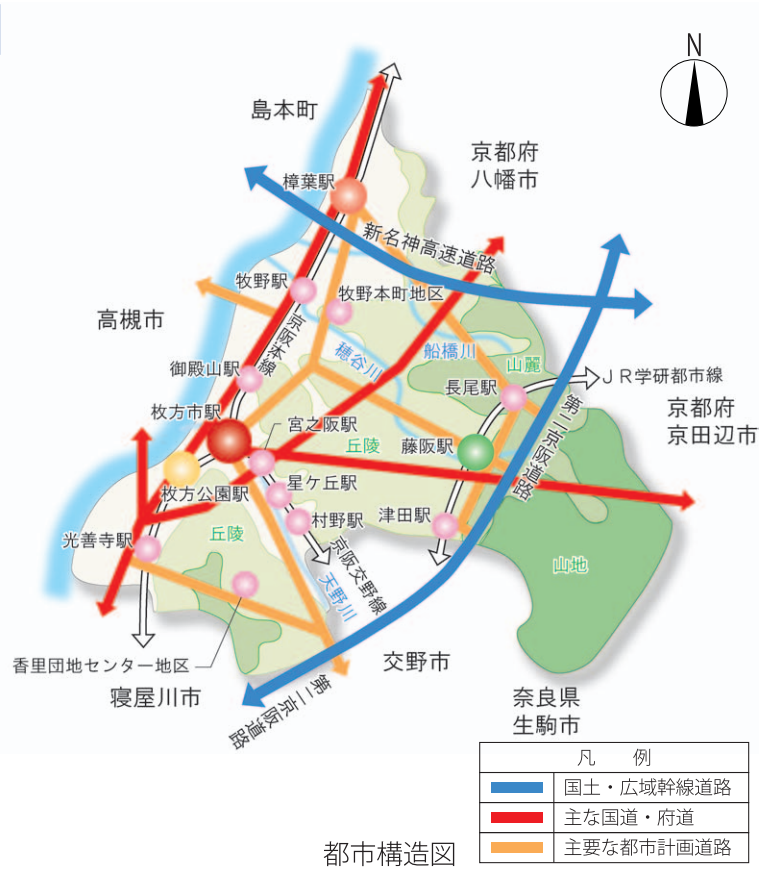
##### ■ 道路整備などの考え方






- 効率的に交通網の整備を図ることにより、市内の移動交通の利便性を高めるとともに、拠点に集中する交通を適正に配分し、住宅地へ通過交通が流入することを防ぎ、安全で快適な生活を確保します。
- 歩行者の安全性の確保や日常生活の利便性向上のため、鉄道と道路の立体交差を図ります。
- 「みち」の魅力を高めて歩くことを楽しむことができるように、歩行者系道路の整備を進めます。
- 長期間未着手となっている都市計画道路・公園などについて見直しを進め、最適な都市計画施設の配置をめざします。



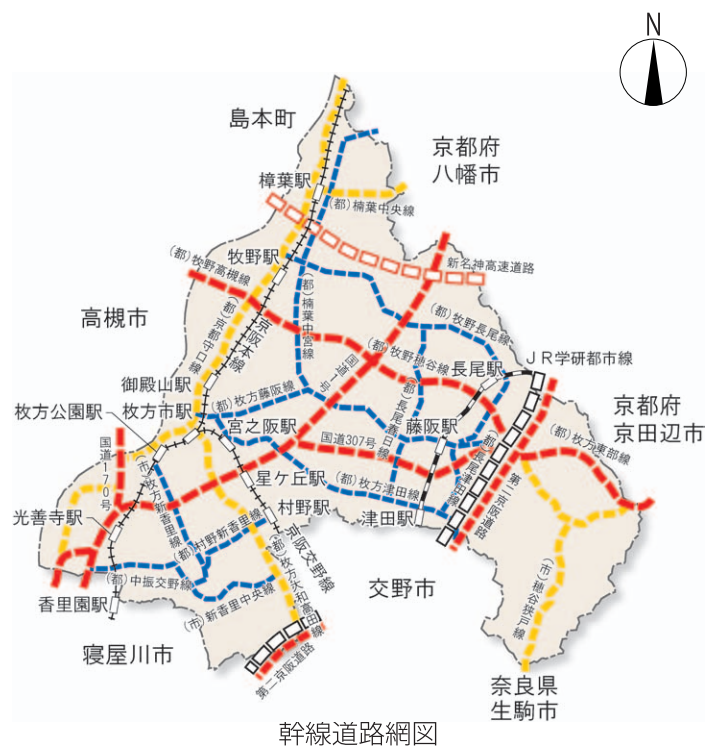
### 拠点の考え方

	<b>広域拠点</b>	枚方市駅周辺は枚方市だけではなく、周辺市町を含めた広域における商業業務の中心拠点とします。
	<b>広域観光拠点</b>	枚方市駅から枚方公園駅周辺および淀川河川公園は、自然、歴史、アミューズメント施設などを活用した人が集まる広域観光拠点とします。
	<b>地域拠点</b>	京阪樟葉駅周辺およびJR藤阪駅周辺に地域拠点を形成します。樟葉駅周辺は、既存の商業施設の集積の強化を図り、枚方市北部の拠点とします。藤阪駅周辺は周辺の自然環境と共生した枚方市東部の拠点とします。
	<b>地区拠点</b>	京阪牧野駅、御殿山駅、光善寺駅、宮之阪駅、星ヶ丘駅、村野駅、JR長尾駅、津田駅周辺、牧野本町地区、香里団地センター地区を日常生活圏の中心として近隣商業サービス機能の集積を図る地区拠点とします。



<b>国土幹線道路</b>		新名神高速道路
<b>広域幹線道路</b>		第二京阪道路 (自動車専用道)
<b>都市幹線道路</b>		国道1号、国道170号(大阪外環状線)、国道307号、牧野穂谷線、牧野高槻線、枚方東部線、第二京阪道路(一般道)
<b>地域幹線道路</b>		国道307号、京都守口線、枚方大和高田線、楠葉中央線、穂谷狭戸線
<b>地域補助幹線道路</b>		枚方津田線、牧野長尾線、長尾津田線、枚方藤阪線、楠葉中宮線、長尾春日線、中振交野線、枚方新香里線、村野新香里線、新香里中央線

※ 新名神高速道路、第二京阪道路、国道1号、国道170号、国道307号、穂谷狭戸線、枚方新香里線、新香里中央線以外は都市計画道路名です。



## 土地利用の方針

### 計画的な土地利用を誘導していく 必要があります

人口減少や少子高齢化の進行、産業構造や生活様式など枚方市を取り巻く状況は刻々と変化しています。これらの変化に対応し、都市としての活力を維持・発展させながら、将来にわたって住み続けられるよう、計画的で効果的な土地利用を図っていく必要があります。

現況の土地利用をふまえ、快適で活力ある都市活動を営めるようなまちを目指して、住み続けることができる循環性のある土地利用とするために、次の考え方を基本として、計画的な土地利用の誘導を図ります。

① 自然の地形に逆らわない

② 枚方の風土を守り育てる

③ 複合融合の土地利用を適切に配置する

④ 鉄道駅を中心とした拠点形成を図り生活圏を充実させる

⑤ 産業集積との協調を図る

⑥ 緑道と緑地を適宜配置する

#### 住宅系土地利用

平地部は、住宅が適度のゆとりをもって立ち並び、利便性が高い都市居住空間とします。丘陵部は、居住機能を中心に自然環境とも調和した土地利用とします。

#### 商業系土地利用

4つの拠点を中心に、商業、業務、交流などの都市機能の集積を図るほか、幹線道路沿道は、商業サービス機能の集積を図ります。

#### 工業系土地利用

市内7企業団地や国道1号などを中心に工業や流通業務、研究開発など産業の集積を図るとともに、複合的な新産業の集積にも対応します。また、住宅と工場が混在している地区は、双方の機能が損なわれないよう協調を図ります。

#### 緑地系土地利用

農地や里山の保全・活用を図るとともに、公園・緑地や水辺などの整備を進めます。また、まちの活力および周辺環境の向上などに資する場合は、地区計画などにより都市的土地利用を図ることができるものとします。

凡 例	
土地利用	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 住居系土地利用
	<span style="background-color: pink; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 商業系土地利用
	<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 工業系土地利用
	<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 緑地系土地利用
道 路	<span style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; display: inline-block;"></span> 国土幹線道路
	<span style="border-bottom: 2px solid blue; width: 20px; display: inline-block;"></span> 広域幹線道路
	<span style="border-bottom: 2px dashed red; width: 20px; display: inline-block;"></span> 都市幹線道路
	<span style="border-bottom: 2px dashed orange; width: 20px; display: inline-block;"></span> 地域幹線道路
	<span style="border-bottom: 2px dashed blue; width: 20px; display: inline-block;"></span> 地域補助幹線道路 など



土地利用方針図

## 生活環境の質の高いまちづくり

### 成熟都市として質の高いまちが 求められています

本格的な人口減少や少子高齢社会を迎え、かつての高度成長から緩やかな成長へと転換するなか、生活様式の変化や価値観の多様化など人々の意識も大きく変化してきました。市民意識調査では居住環境の向上や、散歩などのできる並木道や遊歩道の整備などを望む声が高く、「心の豊かさ」を実感するための「ゆとり」や「うるおい」など質的な充実が求められています。

成熟都市として市民の価値観の変化や多様化に対応するために、地域資源を活かした個性豊かで質の高い都市をつくります。

#### ■「豊かな自然や歴史」をはぐくみます

- 枚方を象徴する自然風景や市街地に残る自然資源を守り活かします。
- 歴史的景観を守り、まちの歴史を地域の個性として活かします。



#### ■良好な住環境の保全を図ります

- 住民の自主的な取り組みによる地区計画や建築協定などを活用し、住環境の保全・整備を図ります。

#### ■住宅地と工場の共生を図ります

- 住宅地と工場が近接する住工混在地区については、企業と住民による協働のまちづくりを進め、協調を図ります。



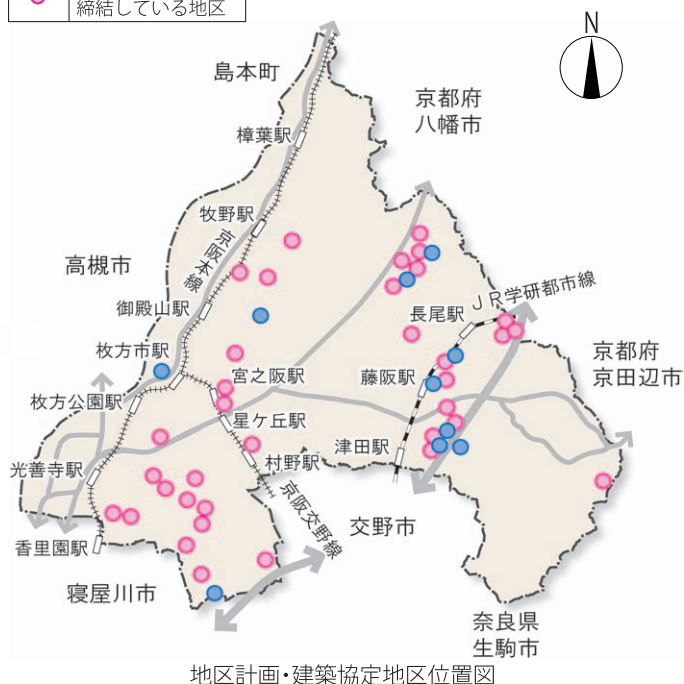
#### ■「快適な地域環境」をそだてます

- 自然が息づき、人々があたたかい“ぬくもり”を感じあえる場をつくります。
- 個性を活かしたゆとりある美しいまち並みをはぐくみます。
- まちの景観を乱すものを取り除きます。
- 高齢者や障害者にやさしい地域環境をはぐくみます。
- 幹線道路は緑化などにより、美しい沿道景観をつくります。

#### ■「都市的な魅力」をつくります

- にぎわいと風格のある都市核をつくります。
- 生活を楽しみ文化に触れる地域の拠点をつくり育てます。
- 四季の彩りや一日の時の移ろいなど、変化するまちの表情を楽しめる都市を演出します。
- 自然や歴史文化を歩きながら楽しめる歩行者系道路の整備を進めます。

凡 例	
●	地区計画を策定している地区
●	建築協定を締結している地区



## 安全・安心のまちづくり

### 安全で安心して暮らせるまちが 求められています

近年、日本各地において、地震や台風、局地的な豪雨などによる自然災害が、これまでにない規模で発生して大きな被害をもたらしています。市民意識調査では、安全なまちづくりのために何らかの協力はできる、という回答が8割を超え、また、道路・鉄道の整備・充実についても、安全で安心な生活道路の整備やすべての人にやさしいバリアフリー化の促進を望む声が高いなど、安全・安心への市民意識が強まっています。

いつまでも住み続けたいと思える都市を目指して、すべての人が安全で安心を実感できる都市をつくります。

#### ■災害に強い都市づくりを進めます

- 都市の不燃化・耐震化を図り、建物の不燃化やオープンスペースの確保など、災害に強い都市をつくります。
- 道路が未整備であったり、家屋が密集している地区については、住民とともに住環境整備に取り組み、災害に強いまちづくりをめざします。

#### ■災害時に対応する防災拠点を整備します








- 広域避難地(現在淀川河川公園、山田池公園が指定されています。)と避難所、そして災害時用ヘリポートを指定し、防災機能の充実に努めます。
- 広域避難地へ避難するまでの避難路の確保や物資輸送のための緊急交通路の確保を図ります。
- 農地やオープンスペースを身近な防災空地として活用します。近隣公園以上の規模を有する公園を防災公園とします。
- 災害発生時の応急給水への対応を図ります。

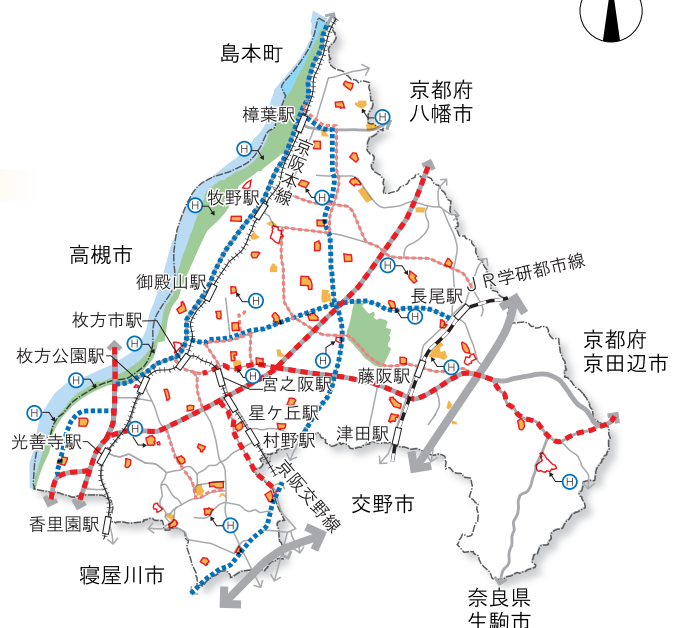
#### ■都市における遊水・保水機能を見直す 総合的な治水対策を進めます

- 震災や火災などの災害を小さくするため、樹林や樹木の緑を確保します。
- 河川改修や下水道整備を進め浸水を防ぎます。
- 都市型浸水被害を防ぐため、ため池や樹林地の保全や流域の保水に努めます。
- 公共公益施設などに雨水流出抑制施設を普及させるとともに、歩道や緑道などの透水性舗装による整備に努めます。

#### ■安全で安心して暮らせるまちづくり を進めます

- まちのバリアフリー化を推進するとともに、ユニバーサルデザインによるまちづくりを進めます。
- 鉄道駅を中心とした施設(鉄道駅、駅前広場、道路など)の改良・整備を進めます。
- 公園などの都市施設や公共施設は、すべての人が安心して利用できるよう整備を進めます。

凡 例	
	広域緊急交通路
	地域緊急交通路
	避難路
	広域避難地
	一時避難地
	第一次避難所
	災害時用ヘリポート



避難路などネットワーク図

## 環境にやさしいまちづくり

### 環境共生型で環境負荷の小さいまちが 求められています

近年、地球温暖化など、地球規模での環境問題により生態系への影響などが懸念されるなか、自然環境と共生した都市を目指すとともに、温室効果ガスの排出抑制など環境負荷の小さい低炭素型の都市が求められています。

また、市民意識調査では、将来の枚方市について、農地や自然環境の保全を望む声が高く、環境への市民意識は高いものとなっています。

循環する都市を目指して、将来の世代に引き継いでいくことができる、環境共生型で環境負荷の小さい都市をつくります。

#### ■環境に配慮したまちづくりを進めます

- 自然環境との循環を大切に、環境負荷の小さい次世代に継承できる低炭素型の都市づくりを進めます。
- 市民生活を維持するために、衛生的かつ安全なごみ処理を行います。また、資源ごみを有効に利用します。

#### ■自然環境の保全・活用に努めます

- 貴重な東部の山地や里山、農地やため池の保全に努めます。
- 枚方らしい景観をつくる段丘崖の樹林などの保全に努めます。
- 河川やため池を活用し、自然とふれあう親水空間を整備します。
- 河川などの水質改善に向けて、下水道(汚水)を整備し、水洗化を促進します。

#### ■公園・緑地など親緑空間の整備を進めます

- 都市計画公園の整備を促進し、市民の日常的な余暇空間となる公園の整備をめざします。
- 淀川の自然と東部の里山を結ぶ水と緑の回廊を守り、作りだします。
- 自然巡回路や緑道の整備を行い、緑のネットワークをつくり、歩行者空間とするとともに、災害時の避難路として活用します。
- 新名神高速道路の地上部は、船橋川公園、船橋川緑地などとの一体的な整備を図り、まとまりのある親緑空間をつくります。
- 生産緑地は都市の中の貴重な空間として営農環境を保全します。

#### ■環境にやさしい公共交通ネットワークをつくりま

- 鉄道とバスの連携を高め、鉄道駅を中心とした公共交通結節機能を強化することにより、自動車交通の増加を抑制するとともに、利便性の向上を図ります。
- 交通需要の適正化と道路交通の円滑化を推進する交通需要マネジメント(TDM)に取り組みます。

凡 例	
●●●●	歩行者系道路
——	河川
■	公園(近隣公園以上)・緑地



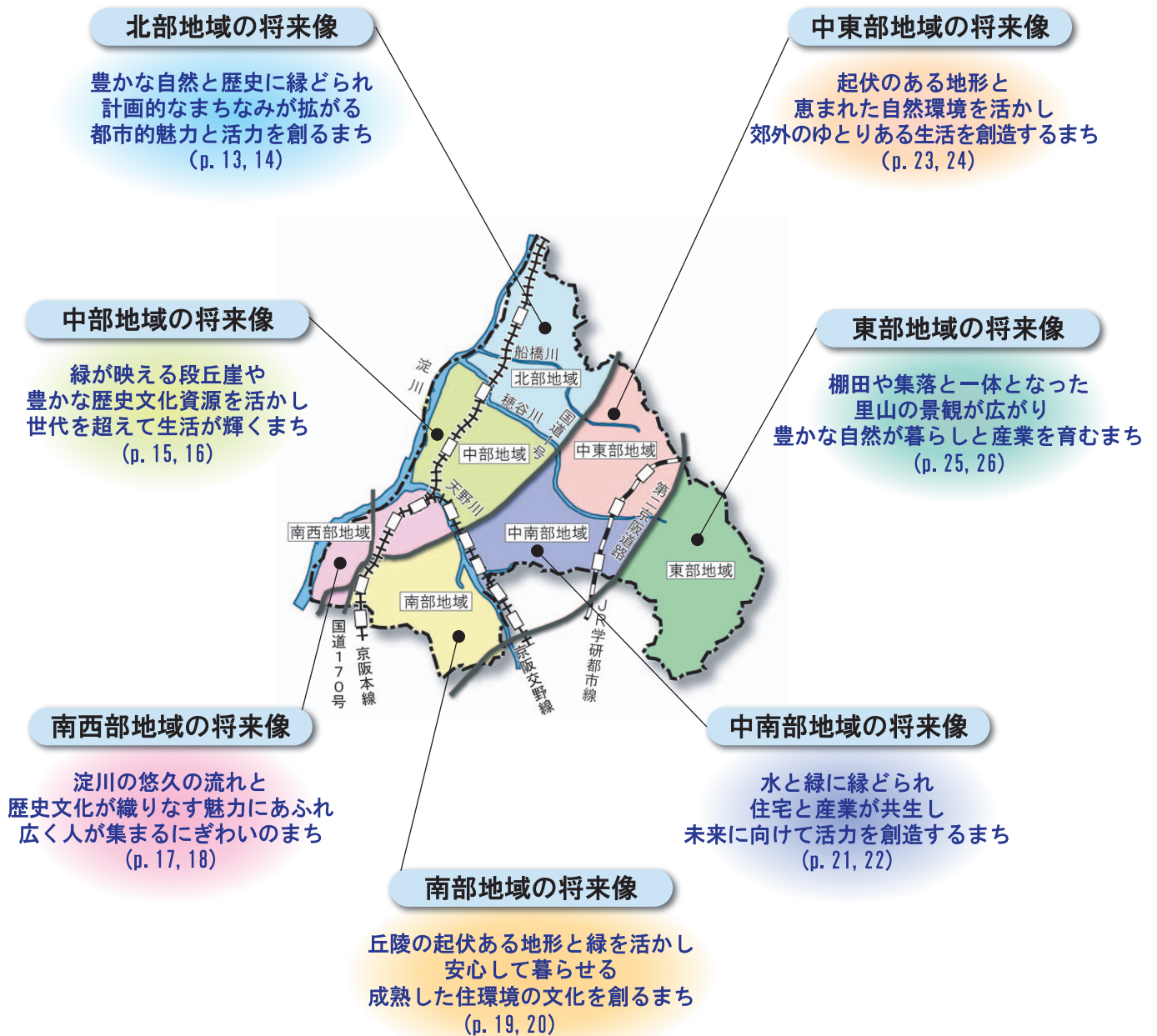
# 地域別構想

## 地域別構想の考え方

地域別構想はそれぞれの地域の特徴や課題をふまえ、地域の将来像や目標およびまちづくり方針を定めたものです。

### ■ 地域の区分

地域別構想では、枚方市を穂谷川や天野川、国道1号や第二京阪道路などによって区分される、次のような7つの地域ごとにまちづくりを考えていきます。



## ■ 土地利用の区分

### 住宅ゾーン

居住機能を中心とし、自然環境とも共生した良好な住環境を形成します。

### 都市居住ゾーン

居住機能と商業サービス機能が共存した利便性の高い良好な住環境を形成します。

### 商業集積ゾーン

主に拠点を形成するために必要な業務、商業、交流施設などの都市機能の集積を図ります。

### 沿道産業集積ゾーン

主に商業サービス業務などの複合機能を有する施設や流通業務拠点などの集積を図ります。

### 工業集積ゾーン

主に製造業や流通機能、研究開発機能などの集積を図ります。

### 住工協調ゾーン

工場地と住宅地が混在している地域で、環境に配慮しながら双方の機能が損なわれないように共存を図ります。

### みどりの都市環境ゾーン

原則として市街化を抑制しますが、地域のまちづくりに資する場合は、一定の都市的土地利用を図ることにより都市の健全な発展を促します。

### 農業ゾーン

農業基盤の整備促進や農地の保全・活用、営農環境の向上を図ります。

### 自然環境ゾーン

緑空間や水辺空間など自然環境を保全・活用します。

## ■ 道路の区分

### 国土幹線道路

国土を形成する大動脈としての役割を持つ道路です。

### 都市幹線道路

枚方市と周辺の都市圏を結ぶ道路です。

### 地域補助幹線道路

枚方市内の地域を結ぶとともに、地域幹線道路へのスムーズなつながりをつくる機能をもつ主要な道路です。

### 広域幹線道路

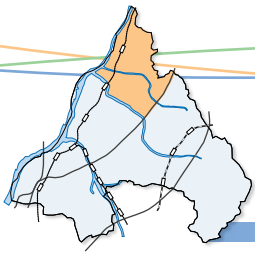
枚方市と大阪や京都の大都市圏とを結ぶ広域的な道路です。

### 地域幹線道路

隣接する都市を結ぶ道路です。

### 歩行者系道路

地域の自然や歴史文化を活かし快適に歩くことを中心とした道路です。



# 1.北部地域

この地域は、淀川と穂谷川、国道1号に囲まれており、地域の西側を京阪本線が通っています。地域の歴史は古く、樟葉駅周辺はあらゆる世代の人々のニーズにこたえる枚方市北部の中心地として、また、牧野駅周辺は商店街の形成など生活に便利なまちとして発展してきました。

樟葉駅周辺は都市環境が整った魅力的な枚方市北部の拠点として、また、牧野駅周辺は人々が集う活力あるまちという地域イメージを大切に、まちを成熟させていきます。

また、自然、歴史文化遺産をまちづくりに活用し、安全で快適な住宅地として、住み続けることに誇りを感じることができる地域の形成を図ります。

## ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 樟葉駅周辺の都市機能が充実した地域拠点の形成
- 牧野駅周辺の市街地再開発事業の促進や交通結節機能の強化によるにぎわいとゆとりある地区拠点の形成
- 新名神高速道路の整備促進



樟葉駅周辺

## ◆土地利用の方針

- 樟葉駅、牧野駅周辺における商業・サービス機能の集積
- (市)楠葉中央線、(府)枚方交野寝屋川線の沿道における商業・サービス機能の集積
- 多様性と個性を活かした計画的で良好な住環境の形成
- 楠葉台場跡の歴史文化遺産の保全と土地区画整理事業による市街地の整備
- 枚方企業団地や国道1号沿道における産業の集積
- 地域南部の農地の保全・活用



(市)楠葉中央線の沿道

## ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 淀川の水と緑が感じられる景観形成
- 地区計画や建築協定の活用による快適な住環境の保全
- 工場外周部の緑化誘導などによる周辺住宅地と調和した良好な環境形成の促進
- 史跡九頭神廃寺などの歴史文化遺産や自然的資源を活かした憩いある都市環境の形成



快適な住環境

## ◆安心・安全のまちづくり

- 広域避難地に通じる避難路の(府)京都守口線、(府)枚方交野寝屋川線沿道における建築物の不燃化促進
- 樟葉駅や牧野駅周辺を中心としたバリアフリー化の促進
- 歩道拡幅整備などによる安全な歩行者空間の確保

## ◆環境にやさしいまちづくり

- 駅前広場や自転車走行環境の整備などによる公共交通や自転車の利用促進
- 自然巡回路などの自然的資源を活かした水と緑のネットワークの形成



# 地域の将来像

## 豊かな自然と歴史に縁どられ 計画的なまちなみが広がる 都市的魅力と活力を創るまち



淀川河川敷(広域避難地)

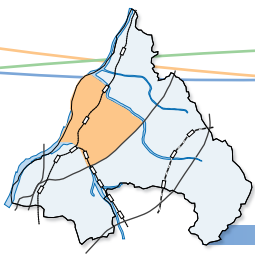


船橋川緑道

中部地域

中東部地域

凡 例			
土地利用	住宅ゾーン	道 路	国土幹線道路
	都市居住ゾーン		都市幹線道路
	商業集積ゾーン		地域幹線道路
	沿道産業集積ゾーン		地域補助幹線道路など
	工業集積ゾーン		歩行者系道路
	みどりの都市環境ゾーン		公園(近隣公園以上)・緑地
	自然環境ゾーン		地域界



## 2. 中部地域

地域の西側は淀川が流れ、京阪本線が通り、東側は国道1号が走っています。南側は天野川を経て枚方市駅につながり、利便性に富んだ地域となっています。

枚方市の中心部に近い利点を活かし、あらゆる世代が安全に安心して住み続けることができる住宅地の形成をめざすとともに、国道1号沿道は活気のある商業・流通施設の充実を図ります。また、段丘崖に残された緑地や緑道などによる緑のネットワークの形成や、百済寺跡をはじめ豊かな歴史を感じさせる空間の整備など、地域資源を活かしたまちづくりを進めます。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 牧野駅周辺の市街地再開発事業の促進や交通結節機能の強化によるにぎわいとゆとりある地区拠点の形成
- (都) 牧野高槻線の整備促進や(都) 枚方藤阪線、(都) 御殿山小倉線などの整備推進

### ◆土地利用の方針

- 牧野駅、御殿山駅、宮之阪駅周辺における生活に身近な商業・サービス機能の集積
- 国道1号沿道における産業の集積
- 生活利便性の高い住環境の形成
- 工業集積ゾーンにおける周辺住宅地と協調した環境の形成
- 淀川沿いの農地の保全・活用

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 芸術や枚方の歴史を感じられる散策道の整備
- 地区計画や建築協定の活用による良好な住環境の保全・整備
- 国道1号沿道における建物や広告物の色彩などに配慮した良好な都市景観の形成
- 百済寺跡や渚院跡などの歴史や文化に配慮した景観の形成

### ◆安全・安心のまちづくり

- 広域避難地に通じる避難路の(府) 京都守口線、(府) 杉田口禁野線、(都) 枚方藤阪線沿道における建築物の不燃化促進
- 牧野駅、御殿山駅、宮之阪駅周辺を中心としたバリアフリー化の促進
- オープンスペースの確保や生活道路の整備などによる災害に強い住環境の形成
- 新市民病院の整備と防災拠点とのネットワーク化による安心のまちづくりの推進

### ◆環境にやさしいまちづくり

- 段丘斜面に残る樹林の保全
- 駅前広場や駅への自転車歩行者道の整備推進などによる公共交通や自転車の利用促進
- 淀川などの自然的資源や緑道などを結ぶことによる水と緑のネットワークの形成



牧野駅の市街地再開発事業(イメージ図)



国道1号沿道



百済寺跡公園

# 地域の将来像

## 緑が映える段丘崖や豊かな歴史文化資源を活かし 世代を超えて生活が輝くまち

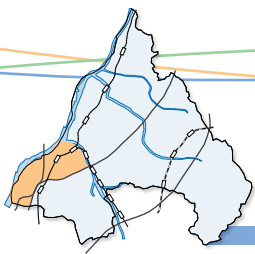


新市民病院(イメージ図)



段丘斜面に残る樹林

凡 例	
土地利用	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span> 住宅ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span> 都市居住ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span> 商業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:blue;"></span> 沿道産業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue;"></span> 工業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen;"></span> みどりの都市環境ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:green;"></span> 自然環境ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgrey;"></span> 公園(近隣公園以上)・緑地
道 路	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:2px solid blue;"></span> 都市幹線道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:2px dashed blue;"></span> 地域幹線道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:2px dash-dot blue;"></span> 地域補助幹線道路など
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:2px dotted green;"></span> 歩行者系道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgrey;"></span> 供給処理施設
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid black;"></span> 地域界



## 3.南西部地域

この地域は、江戸時代に東海道の宿場が置かれ、淀川の舟運とともに「人とモノが集まる拠点」としてにぎわい、その後においても鉄道と幹線道路が集中する枚方市の玄関口として、時代の変化に合わせて成長してきました。また、段丘崖に残る斜面緑地や淀川、天野川といった河川に囲まれ、歴史・自然環境に恵まれた地域です。

これらの歴史・自然環境を活用するとともに、文化・福祉機能を付加して世代間の交流を促進し、周辺都市を含めた広域都市圏の拠点にふさわしい「人が集まる広域交流拠点」の形成を図ります。また、京阪本線の高架化を促進し、市街地の一体化を図るとともに、住工の協調などによる良好な市街地環境の形成を図ります。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 枚方市駅周辺における総合文化施設の整備などによる広域拠点の形成
- 枚方公園駅周辺の歴史文化遺産や淀川河川公園、ひらかたパークなどの活用と広域観光拠点の形成
- 京阪本線高架化の推進による地域の一体的なまちづくりの促進
- 公共交通の利便性の向上やモビリティマネジメント\*の促進による枚方市駅周辺の交通渋滞の解消



枚方市駅周辺

### ◆土地利用の方針

- 枚方市駅、枚方公園駅周辺における商業・サービス機能などの集積
- 周辺環境と調和した安全で安心な住環境の形成
- 国道170号沿道における流通業務機能の集積
- 地域南部の農地の保全・活用



国道170号沿道

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 枚方市駅周辺における都市的魅力に富む風格のあるまちなみの形成
- 淀川など水辺空間を活かした憩いと潤いのある空間形成
- 住宅と工場などの適正な立地誘導による協調型のまちづくりの促進や良好な住環境の保全・整備
- 枚方宿と周辺の資源を活かし、歴史・自然と調和した景観の形成
- 国道1号、国道170号における幹線道路沿道の良好な都市景観の形成
- 枚方西高等学校跡地におけるスポーツ拠点施設の整備推進



枚方宿における歴史的景観

### ◆安全・安心のまちづくり

- 雨水の浸透を阻害する行為についての流出抑制対策の促進
- 広域避難地に通じる避難路の(府)京都市守口線や(都)枚方藤阪線沿道における建築物の不燃化促進
- 枚方市駅、枚方公園駅周辺を中心としたバリアフリー化の促進
- 淀川河川公園や京街道、ひらかたパークなどをつなぐ安全な歩行者空間の確保
- オープンスペースの確保や生活道路の整備などによる災害に強い住環境の形成

### ◆環境にやさしいまちづくり

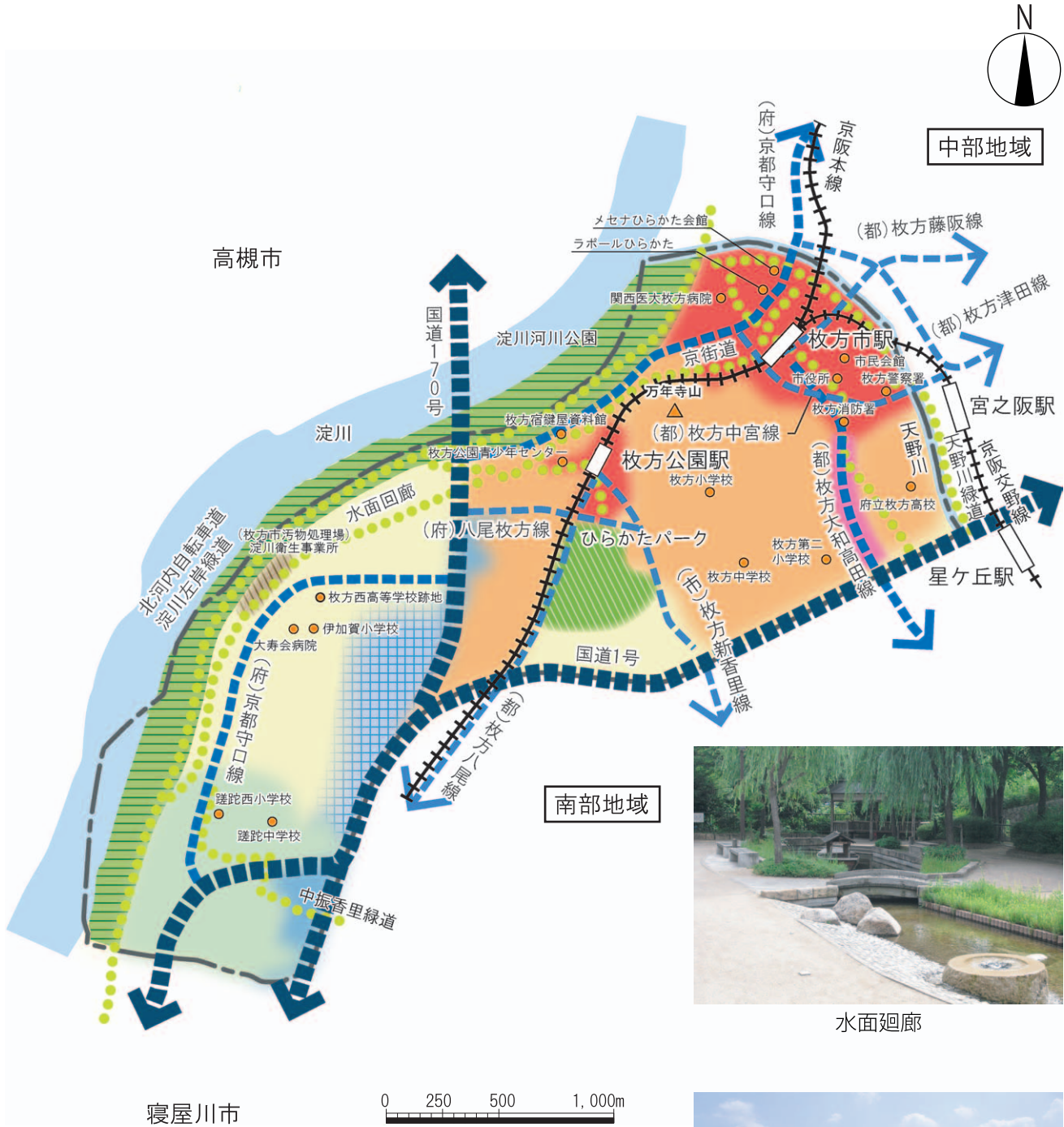
- 枚方丘陵に残る斜面林などの保全
- 駅への歩道や自転車走行環境の整備などによる公共交通や自転車の利用促進
- 淀川や自然巡回路、街路樹などを結ぶ水と緑のネットワークの形成
- 天野川における親水空間の整備促進

※ モビリティマネジメント

地域を「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みを意味するものです。

# 地域の将来像

## 淀川の悠久の流れと歴史文化が織りなす魅力にあふれ 広く人が集まるにぎわいのまち

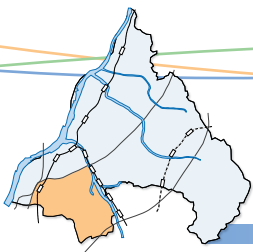


水面廻廊



淀川河川公園

凡 例	
土地利用	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#fff9c4; border:1px solid black;"></span> 住宅ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffcc99; border:1px solid black;"></span> 都市居住ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ff6666; border:1px solid black;"></span> 商業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ff99cc; border:1px solid black;"></span> 沿道産業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ccff; border:1px solid black;"></span> 工業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ccff; border:1px solid black;"></span> 住工協調ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ff99; border:1px solid black;"></span> みどりの都市環境ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ff99; border:1px solid black;"></span> 自然環境ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ff99; border:1px solid black;"></span> 公園(近隣公園以上)・緑地
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#99ff99; border:1px solid black;"></span> 供給処理施設
道 路	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#006699; border:1px solid black;"></span>	都市幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#006699; border:1px dashed black;"></span>	地域幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#006699; border:1px dotted black;"></span>	地域補助幹線道路など
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-top:1px dotted yellow;"></span>	歩行者系道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid black;"></span>	地域界



## 4.南部地域

この地域は、枚方市を代表する住宅地であり、丘陵部中央の香里団地では建て替えが進められてきました。これらのまちの再生を継続しつつ、みどり豊かで良好な住環境を活かし、多様な世代のニーズにあわせた住宅地として次世代へ継承していきます。

中心丘陵部と周辺地域をつなぐ沿道は、にぎわいとともにもっとも憩いや潤いの空間を形成することで、周辺地域を含めた住環境の向上を図ります。

京阪本線の高架化を促進し、光善寺駅や香里園駅の周辺は生活利便性を高めるよう商業サービス機能の充実を図ります。また、天野川や背景にある段丘崖の緑地などの豊富な水や緑を活かした魅力ある地域の形成を図ります。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 光善寺駅周辺の交通結節機能の強化や生活利便性の高い活気のある地区拠点の形成
- 京阪本線高架化の推進による地域の一体的なまちづくりの促進
- (府)八尾枚方線の歩道整備や(都)中振交野線の整備促進による交通ネットワークの強化や安全な歩行者空間の確保



光善寺駅周辺

### ◆土地利用の方針

- 香里団地センター地区、光善寺駅、香里園駅周辺における商業・サービス機能の集積
- (市)岡東山之上東1号線および(市)山之上高田線沿道における商業・サービス機能の集積
- 多世代が住み続けられる良好な住環境の形成
- 第二京阪道路を活かした産業集積の誘導
- 天野川左岸の農地の保全・活用

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 天野川など水辺空間を活かした憩いと潤いのある空間形成
- 地区計画や建築協定の活用による良好な住環境の保全・整備
- 坂道を活かした個性的なまちなみの形成
- 歴史的たたずまいの残る集落の保全
- 第二京阪道路沿道の「緑の軸」としての自然と調和した良好な景観の形成
- けやき通りなど街路樹と一体となった緑豊かな沿道景観の形成



良好な住宅地

### ◆安全・安心のまちづくり

- 雨水の浸透を阻害する行為についての流出抑制対策の促進
- 広域避難地に通じる避難路の(府)枚方交野寝屋川線沿道における建築物の不燃化促進

### ◆環境にやさしいまちづくり

- 枚方丘陵に残る斜面林などの保全
- 駅への歩道や自転車走行環境の整備推進などによる公共交通や自転車の利用促進
- 社寺林や天野川緑道などの自然的資源を活かした緑のネットワーク形成
- (都)中振中央公園の整備推進



茄子作集落

地域の将来像

丘陵の起伏ある地形と緑を活かし 安心して暮らせる  
成熟した住環境の文化を創るまち



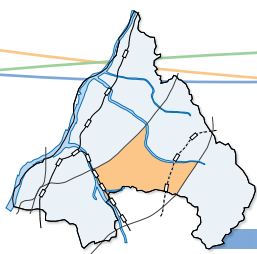
香里団地



凡 例				
土地利用		住宅ゾーン	道 路	
		都市居住ゾーン		
		商業集積ゾーン		
		工業集積ゾーン		
		みどりの都市環境ゾーン		
		地域界		広域幹線道路
		公園(近隣公園以上)・緑地		都市幹線道路
				地域幹線道路
				地域補助幹線道路など
				歩行者系道路



第二京阪道路沿道



## 5. 中南部地域

この地域は、国道307号が東西に走り、その周辺に工業団地が形成され、さらに新しい住宅地がつくられた地域です。また、地域の北側を穂谷川が、西側を天野川が流れ、一団のまとまった農地があるなど自然環境に恵まれています。これまで形成されてきた地域の多様な環境を活かしながら、住宅機能だけではなく、地域に一定の産業集積を形成していくことは魅力ある都市づくりにとって重要です。

地域には産業が集積しているため、住宅地と商業地、工業地が互いの機能を損なわないように共存し、豊かな田園や水・緑の自然環境と調和するまちの形成を図ります。また、スムーズな交通を促すよう交通環境の改善を図るとともに、水と緑のネットワークを形成し、活気とゆとりが感じられるまちの形成を図ります。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- J R 津田駅周辺の交通結節機能の強化などによる利便性の高い地区拠点の形成
- 第二京阪道路開通による新たな交通渋滞の発生など交通流の変化への対応

### ◆土地利用の方針

- J R 津田駅、京阪星ヶ丘駅、村野駅周辺における生活に身近な商業・サービス機能の集積
- 工業団地とその周辺部の良好な操業環境の形成
- 国道1号、国道307号沿道における商業施設や流通機能の集積
- 土地区画整理事業などによる良好な住環境の形成
- 穂谷川左岸や地域南部および村野駅周辺などの農地の保全・活用

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 地区計画や建築協定による快適な住環境の保全・整備
- 工場外周部の緑化誘導などによる周辺住宅地と調和した良好な環境形成の促進
- 出屋敷集落や春日集落など歴史的な家並みが残された集落景観の保全と形成
- 第二京阪道路沿道の「緑の軸」としての自然と調和した良好な景観の形成

### ◆安全・安心のまちづくり

- 広域避難地に通じる避難路の(市)枚方藤阪線、(府)枚方交野寝屋川線沿道における建築物の不燃化促進
- J R 津田駅や京阪星ヶ丘駅、村野駅周辺を中心としたバリアフリー化の促進

### ◆環境にやさしいまちづくり

- 駅への歩道や自転車走行環境の整備推進などによる公共交通や自転車の利用促進
- 社寺林などの自然的資源を活かした水と緑のネットワークの形成
- (都)星ヶ丘公園の整備推進



第二京阪道路



J R 津田駅周辺



枚方東部企業団地



# 地域の将来像

## 水と緑に縁どられ 住宅と産業が共生し 未来に向けて活力を創造するまち



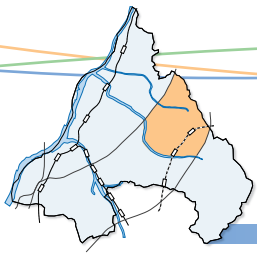
計画的に建設された住宅地



天野川緑道



凡 例	
土地利用	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 住宅ゾーン
	<span style="background-color: pink; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 沿道産業集積ゾーン
	<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 工業集積ゾーン
	<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> みどりの都市環境ゾーン
地域界	<span style="border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px;"></span>
道 路	<span style="border-bottom: 2px solid black; display: inline-block; width: 20px;"></span> 広域幹線道路
	<span style="border-bottom: 4px solid black; display: inline-block; width: 20px;"></span> 都市幹線道路
	<span style="border-bottom: 2px dashed black; display: inline-block; width: 20px;"></span> 地域補助幹線道路など
	<span style="border-bottom: 2px dotted black; display: inline-block; width: 20px;"></span> 歩行者系道路
	<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 公園(近隣公園以上)・緑地
	<span style="background-color: lightgrey; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 供給処理施設



## 6. 中東部地域

この地域は、長尾丘陵に位置し、郊外都市として利便性と自然環境のバランスがとれたゆとりある住宅地が形成されています。昭和40年代に整備された枚方家具団地や大阪紳士服団地については、社会・経済など環境の変化に対応しつつ郊外型産業拠点としての充実を図り、周辺住宅地との調和や団地の活性化を図ります。

山田池公園の豊かな緑を地域のイメージとして活かすとともに、JR長尾駅および藤阪駅を中心とした生活圏の形成を図り、豊かな自然と快適な生活環境が調和した郊外型のゆとりあるまちづくりを進めます。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 藤阪駅周辺の水や緑の自然と共生した地域拠点の形成
- 長尾駅周辺の交通結節機能の強化や利便性の高い地区拠点の形成
- 新名神高速道路の整備促進
- (都) 牧野長尾線、(都) 長尾船橋線、(都) 長尾春日線の整備促進

### ◆土地利用の方針

- 藤阪駅や長尾駅周辺における地域特性を活かした都市機能の集積
- 枚方家具団地および国道1号沿道における産業の集積
- 緑豊かな環境で安心して住み続けられる住環境の形成
- 大阪紳士服団地の活性化
- 地域北東部および船橋川左岸の農地の保全・活用

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 緑をつなぐ歩行者系ネットワークの整備推進
- 枚方家具団地周辺環境整備による活気あふれる空間の形成
- 企業団地周辺における住宅と工場などの適正な立地誘導による環境の整備や住民と企業が協調できるまちづくりの促進
- 第二京阪道路沿道の「緑の軸」としての自然と調和した良好な景観の形成
- 国道1号沿道における建物や広告物の色彩に配慮した良好な景観の形成や工場などの敷地の緑化促進
- (都) 長尾春日線における緑豊かな沿道景観の形成

### ◆安全・安心のまちづくり

- 広域避難地に通じる避難路の(都) 長尾春日線沿道における建築物の不燃化促進
- 藤阪駅、長尾駅周辺を中心としたバリアフリー化の促進
- (府) 交野久御山線や(府) 杉田口禁野線、駅周辺における安全な歩行者空間の確保

### ◆環境にやさしいまちづくり

- 駅前広場や自転車走行環境の整備推進などによる公共交通や自転車の利用促進
- 社寺林や船橋川緑道、山田池公園などの自然的資源を活かした水と緑のネットワークの形成



長尾駅周辺



枚方家具団地



大阪紳士服団地

# 地域の将来像

## 起伏のある地形と恵まれた自然環境を活かし 郊外のゆとりある生活を創造するまち



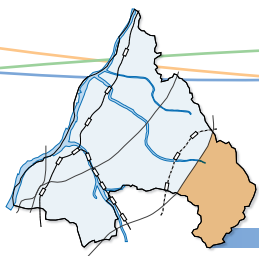
良好な住環境



凡 例			
土地利用	住宅ゾーン	道 路	国土幹線道路
	商業集積ゾーン		広域幹線道路
	沿道産業集積ゾーン		都市幹線道路
	工業集積ゾーン		地域補助幹線道路など
	住工協調ゾーン		歩行者系道路
	みどりの都市環境ゾーン		公園(近隣公園以上)・緑地
			地域界



山田池公園



## 7. 東部地域

この地域は、里山などの自然的資源に恵まれた地域です。また、第二京阪道路の整備が完了したことにより、交通混雑の緩和や周辺都市へのアクセス性の向上など、地域の利便性の向上が期待されます。

水や緑、農空間などの豊かな自然環境を保全し、魅力と憩いあるまちづくりのために活用するとともに、東部地域における美しい田園景観、集落景観を保全し、ゆとりと潤いのあるまちづくりをめざします。

また、関西文化学術研究都市の文化学術研究地区にふさわしいまちとして、先進的で魅力あふれる地域の形成を図ります。

### ◆都市骨格を活かしたまちづくり

- 第二京阪道路開通による新たな交通渋滞の発生など交通流の変化への対応
- 緑道など自然環境と調和させた歩行者道路のネットワークの確保
- 国道307号、(府)枚方高槻線、(府)枚方山城線、(市)穂谷狭戸線の交通環境の改善による他府県との地域レベルでの交流と連携



北河内自転車道

### ◆土地利用の方針

- 里山などの周辺環境と調和した緑豊かな住環境の形成
- 氷室・津田地区における関西文化学術研究都市にふさわしい産業・文化拠点の形成
- 山地部の緑豊かな里山環境や穂谷地区における農地の保全・活用

### ◆生活環境の質の高いまちづくり

- 農村集落と棚田の美しい田園風景の一体的な景観の保全
- 第二京阪道路沿道の自然と調和した良好な景観の形成
- 国道307号、(府)枚方高槻線、(府)枚方山城線、(市)穂谷狭戸線沿道における周辺の自然環境と調和した景観の形成
- 緑豊かな周辺環境と調和したスポーツ公園の整備推進



周辺環境と調和した緑豊かな住環境

### ◆安全・安心のまちづくり

- (市)尊延寺穂谷線などの生活道路の拡幅整備による安全な歩行者空間の確保

### ◆環境にやさしいまちづくり

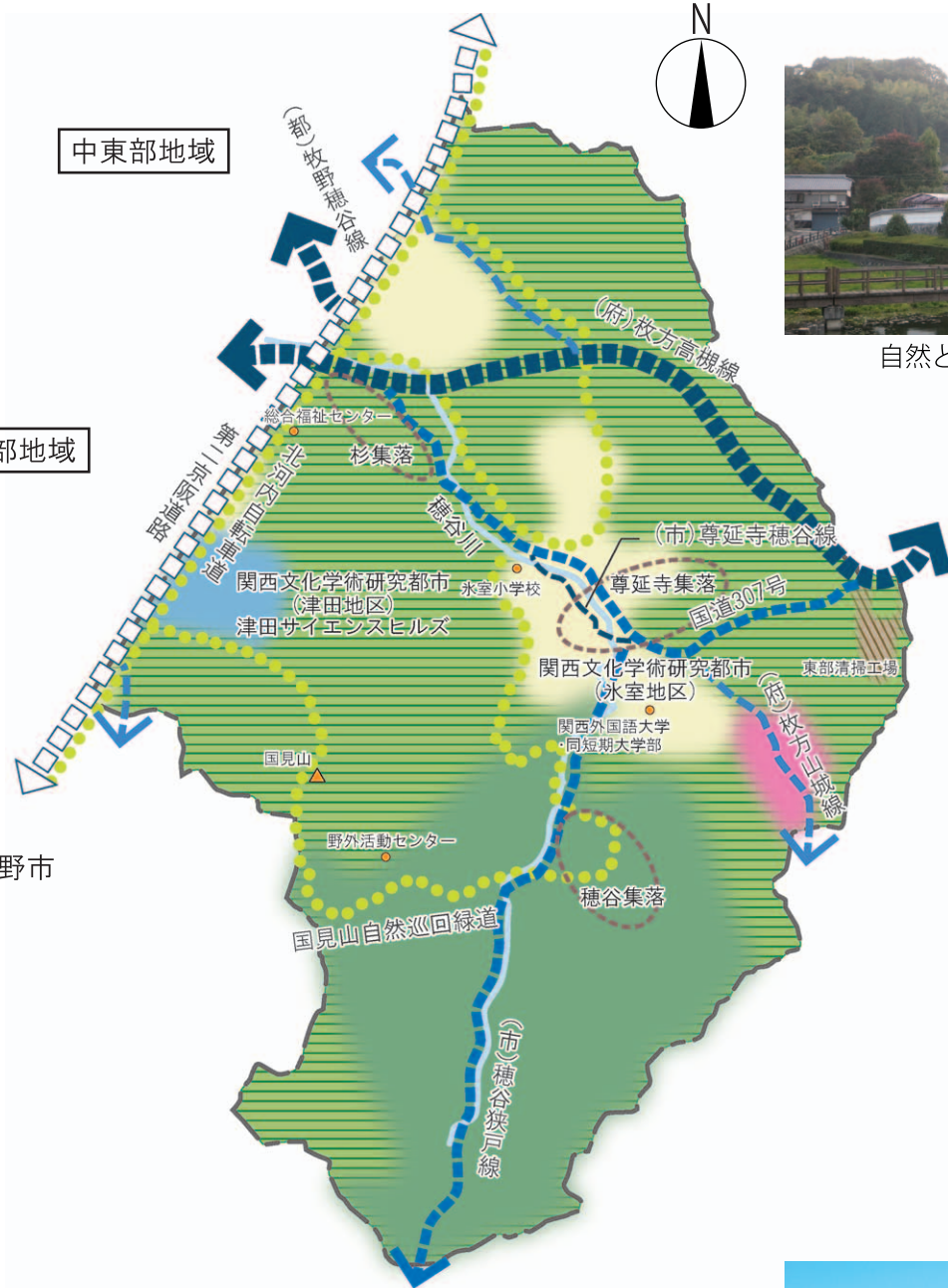
- 自然環境を後世に継承していくための里山など自然的資源の保全・活用
- 里山保全活動の支援による市民に身近な憩いと安らぎの空間づくりの促進
- 国見山自然巡回緑道など自然的資源を活かした緑のネットワークの形成



津田サイエンヒルズ

地域の将来像

棚田や集落と一体となった里山の景観が広がり  
豊かな自然が暮らしと産業を育むまち



自然と調和した家並み



穂谷の里山景観

0 250 500 1,000m

奈良県  
生駒市

凡 例	
土地利用	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ffff00;"></span> 住宅ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ff69b4;"></span> 沿道産業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#add8e6;"></span> 工業集積ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#90ee90;"></span> 農業ゾーン
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#90ee90; border:1px solid #000;"></span> 自然環境ゾーン
	<span style="display:inline-block; border-bottom:1px dashed #000; width:15px;"></span> 地域界
道 路	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px solid #000;"></span> 広域幹線道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:2px solid #000;"></span> 都市幹線道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px dashed #000;"></span> 地域幹線道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px dotted #000;"></span> 地域補助幹線道路など
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border-top:1px dotted #000;"></span> 歩行者系道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border-top:1px dashed #000;"></span> その他の道路
	<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#a9a9a9;"></span> 供給処理施設

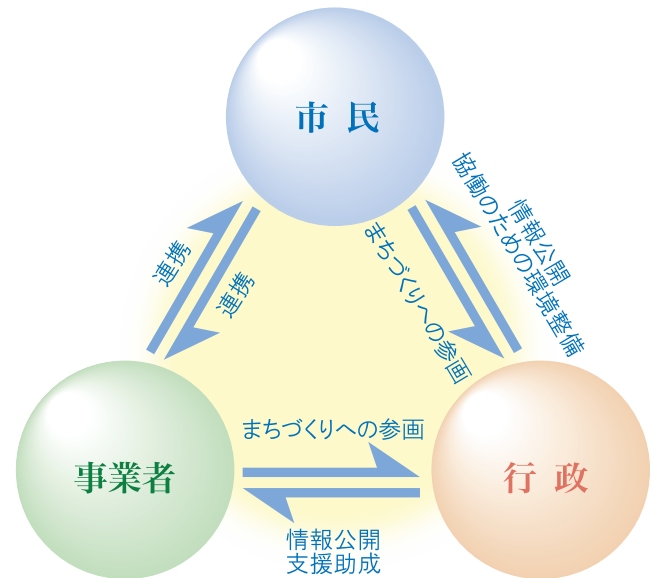
# 都市づくりの実現に向けて

## 1. 実現に向けての基本的な考え方

枚方市のめざすべき都市像『人と自然がいきづく心ときめく都市』を実現するための都市づくり、地域づくりを具体化し実現していくことが求められています。

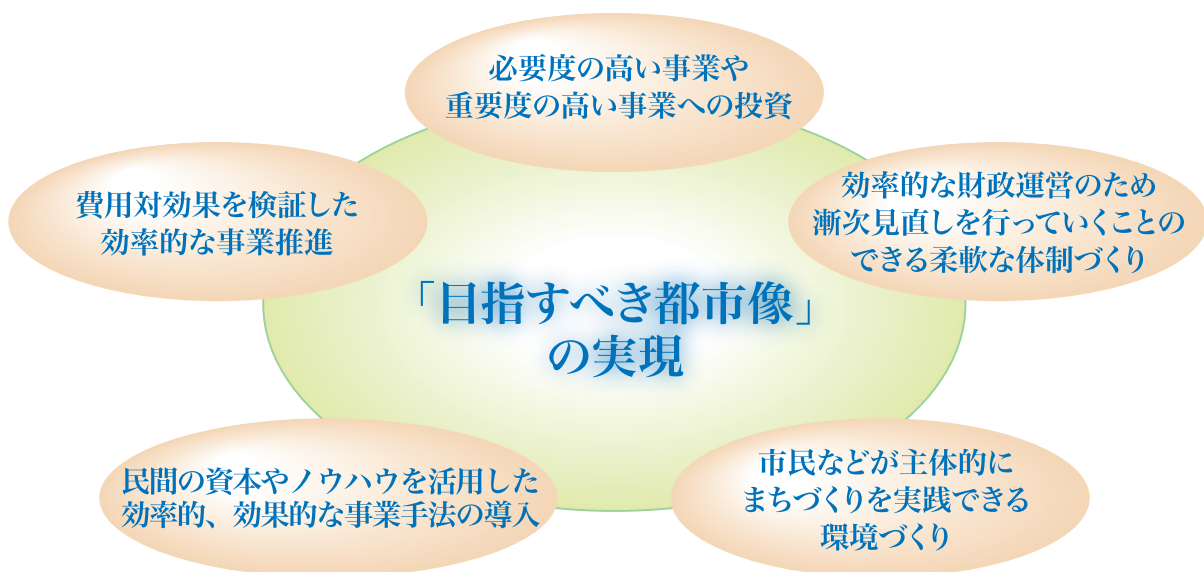
都市・まちは、市民・事業者などの私的空間と、公共空間で成り立っています。これらの空間において相互の営みがうまくかみ合い、互いに支え合ってこそ調和と活力のある都市・まちがつけられます。

都市・まちづくりを進めていくには市民・事業者、そして行政が互いに役割分担をして、まちづくりの取り組みを方向づけていくが必要になります。



## 2. 「めざすべき都市像」の実現に向けたまちづくりの取り組み

枚方市は、めざすべき都市像を実現する基本的な方向を「都市骨格を活かしたまちづくり」「土地利用の方針」「生活環境の質の高いまちづくり」「安全・安心のまちづくり」「環境にやさしいまちづくり」の5つに区分してまちづくりの方針を定めています。以下の点を重視しながら、これらの方針に沿ったまちづくりの事業などへの取り組みを推進します。





# 枚方市都市計画マスタープラン

発行年月 平成23年3月

発行 枚方市

〒573-8666

大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号

TEL 072-841-1221(代表)

FAX 072-841-5101

E-mail [tosikeikaku@city.hirakata.osaka.jp](mailto:tosikeikaku@city.hirakata.osaka.jp)

編集 都市整備部都市計画課



風・きらり 夢・ひらり  
枚方市

この冊子は再生紙を使用しています。